

東海大学構内の桜の木



スーパーER 無施用



スーパーER 6回灌水

2014年9月22日撮影



3月14日より「東海大学構内の松枯れ対策実験」として、構内の26本の松に対して、月に1度のスーパーER・MIの灌水を6回おこなっています。その際に対象松付近の桜の木の樹勢が非常に良く、6回灌水後の9月22日にも殆どの葉が青々としていました。対して、道路を挟んだ向かい側の桜の木は殆どが落葉し、その樹勢の違いがハッキリと出ています。